

令和元年度 三輪公民館運営審議会 開催概要

- 1 日 時 令和元年6月13日（木曜日）午後3時から午後4時30分
- 2 場 所 長野市立三輪公民館 新館1階 学習室1
- 3 出席者 出席委員9名（伊倉文明委員、岡宮純子委員、金井信幸委員、
小林恵津子委員、小林高子委員、中野禎仁委員、
中村利文委員、水野順子委員、山岸恵子委員）

事務局2名（西澤潔公民館長、小根澤公民館係長）
- 4 委嘱書交付 開会後会議の成立を報告し、各委員へ委嘱書を交付
- 5 議 題 (1) 平成30年度 三輪公民館事業報告について（資料別添）
(2) 令和元年度 三輪公民館事業計画について（資料別添）
- 6 議事録（質疑応答部分）

平成30年度 三輪公民館事業報告について

〔委員〕

平成30年度の公民館使用状況等調書に1,172団体の登録、31,381人の利用数とあるが、三輪公民館は他の公民館と比べ、どのような状況であるか。

〔公民館〕

数値に近い公民館では、古里公民館の年間利用者が28,424名、古牧公民館が34,014名であり、芹田公民館は、26,053名、吉田公民館は55,104名の利用者数となっております。三輪公民館は市街地の中心部に位置しているということから、利用者数が多いのですが、課題は駐車場の台数が18台と少ないことです。もう少し三輪公民館も駐車場が広ければ、利用数の拡大に繋がると思っております。

〔委員〕

三輪公民館を利用する際に駐車場台数を増やす考えについて市の回答は。

〔公民館〕

以前にも、市長が出席した「みどりの移動市長室」や「生き生き三輪みんなでトーク」の中で、住民から三輪公民館の駐車場の台数を増やしてほしいとの意見がありました。それに対する市側の回答は、三輪は市街地で立地条件が整っており、近くに長野電鉄の本郷駅もあるので、電車やバス

などの公共交通機関をなるべく使って三輪公民館を利用していただきたいとの回答でした。更北や柳原公民館のように約 200 台も止められる駐車場を持っている公民館もあり、周りに駐車場を拡張できる余地もありますが、三輪公民館は住宅に囲まれており、現在のところは買収できる余地もない状況です。

〔委員〕

三輪公民館の東向いの土地で借りられる余地はないのだろうか。

〔公民館〕

その土地は、個人所有の土地であり、借りることは可能かもしれませんが、用地買収の際は財源が必要であります。

教育委員会に確認しましたが、現状では、借りたり買収する予定はないとの回答でした。

〔委員〕

読書通帳は、子供向けだけでなく、大人に向けたものはあるのか。

〔公民館〕

現在は、子供向けだけの通帳ではありますが、図書の貸し出しは、大人の利用者も多いので、今後沢山の要望が出ましたら検討したいと考えています。

〔委員〕

読書通帳は、市立図書館側でも良い企画であるということを知っているので、小学校でもこの企画を考えている。とても良い企画だと思う。ぜひ、続けて行っていただきたい。

〔委員〕

三輪公民館を利用している方からも、読書通帳を導入してから更に本を借りるようになり、同時に交流の場ができたと聞いている。これからも続けて行ってほしい。

〔公民館〕

スマートフォンが普及した現代において、子供の頃の読書活動はとても表現力や想像力、考える力を育むものであるため、引き続き、読書通帳の発行を継続していきたいと思います。

〔委員〕

旧館トイレの改修費は少し高額だったのではないかと。

便器はいくつ取り替えたのか。また、床等も改修したのか。

〔公民館〕

床も改修し、既存の下水管も新しい管に入れ替えました、男性用トイレでは、小便器3箇所と大便器1箇所。女性用トイレでは便器三箇所を新しい便器に取り替え、衛生面も考慮してウォシュレ

ット機能付きのトイレを設置しましたので、高額な工事となりました。

[委員]

それだけの項目でトイレの改修工事を行ったのであれば、高額な工事となったことも納得できる。

[委員]

三輪公民館の窓口受付の対応が良いという評判を聞いている。自分自身も成人学校を受講しているが、受付の際から優しい言葉をかけていただいている。

声をかけたり、かけてもらったりという雰囲気が三輪公民館にはあると思っている。

[公民館]

普段から職員で明るい挨拶運動に努めております。

[委員]

職員の対応一つで公民館を利用する際の気分が変わるので、受付の対応は大切なことである。

[委員]

旧館トイレの改修工事の意見に続き、講座で旧館を利用している際に感じていたが、和式の便器は、足が悪い方もいるので洋式の便器になり使いやすくなった。あと、やはり駐車場が広いと更に公民館利用の際には便利だと思う。

[委員]

駐車場拡張の件は今後も交渉を続けて行く方向でお願いしたい。

平成 30 年度 三輪公民館事業報告について満場一致で可決

令和元年度三輪公民館事業計画案について

[委員]

今後、子供たちの夏休みに地域と密着するような公民館を通じて活動ができることを考えてほしい。特に、三輪公民館が企画しているキッズふるさと体験活動など夏休みの企画を更に多くしてほしいと思う。

[委員]

子供たちと親が、夏休みに一緒に参加できる企画を考えて行ってほしいと思う。

[委員]

成人学校の受講料は、一学期 8,000 円ということであるが、学級講座を始め、他の講座でも受講料は発生するのか。

〔公民館〕

講座によっては材料費をいただいております。

例えば、茶道教室であれば、12回で3,000円 of 材料費を、信濃の歴史講座は10回で1,000円を資料代としていただいております。なお、三輪教養大学は無料となっております。

子育てセミナーも材料が必要となるので、年間2,000円を材料費としていただいております。

〔委員〕

夏休みに学校のプールの開放がなくなってしまったので、公民館で子供を対象とする講座を企画して行っていただきたい。

〔委員〕

今後も引き続き地域と密着性のある講座を増やして行ってください。

〔公民館〕

今後も、地域と学校の連携・学びの交流の講座を継続し、また地域住民の「集い・学び・繋がる」生涯学習の拠点施設として公民館の一層の利用促進を図ってまいります。

令和元年度 三輪公民館事業計画（案）について満場一致で可決